

平成29年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 国分中央高等学校

1 目的

農業への興味・関心を高め、農業を進路の一つとしてとらえられるように、専門的な学習の取組みで、農業者としての能力や態度を育成することを目的とする。

2 実施状況

(1) 視察研修の実施

1年生は、学校施設（農業大学校）、植物工場を見学、また農家レストランで6次産業を学んだ。将来の進路について考え、日頃の学校では学べない独自の栽培方法や販売方法を学び関心を深めていた。

2年生は、各専攻班で市場や物産館の販売所、加工業者、大学、栽培農家の視察を行い、専門性を高めた。生徒の中には、経営感覚を肌で感じ「将来農業をする」と話す生徒もおり、進路選択の一つのきっかけとなった。

(2) 農業体験講話の実施

平成30年1月18日（水）農業体験講話を実施した。講師は本校卒業生でもある竹ノ内観光農園表取締役の竹ノ内義一氏で、「私の農業経営」をテーマに講演していただいた。農業は自然が相手で収穫前に台風で全滅する年もあったが、逆境を乗り越え、観光農園として外国人客の受入れや直販など販路開拓等により収入を増やすことに成功し、経営を安定させたことを話していただいた。また、K-GAP認証の取り組みも話していただいた。本校も農林水産省が推奨する「GAPをする」の実践校を目指していることもあって、生徒の興味も高く特に3年生からは質問が殺到した。

3 今後の課題、取り組み

視察研修や農業体験講話など、毎年行い評価は得ている。職場体験における農家体験者数は昨年2名であったが本年度は5名であった。今年度の営農の門出を励ます会対象者は、農業大学校3名、農業協同組合3名の計6名であった。農業を将来の職業として考える人材の育成を今後も続けて行きたい。



1年視察



2年視察



農業体験講話